

令和2年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	所管部局	環境生活部	作成責任者	環境生活部長 築地原康志	施策コード	03 - 14
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	文化振興課企画調整係・縄文世界遺産推進室(内24-404) 道民生活課青少年係 24-165	関係課	文化振興課、道民生活課	政策体系コード	3(4)A

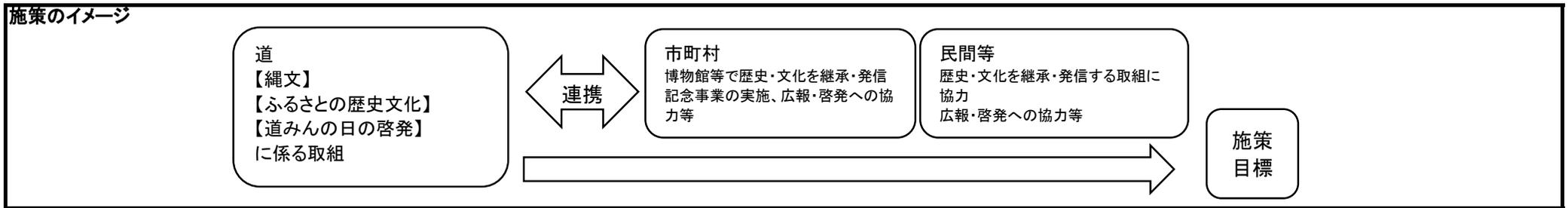
Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題		施策目標		施策の予算額(千円)	
<p>・個性豊かな土偶や漆工芸を生み出した北海道と北東北3県(青森・岩手・秋田)に所在する縄文遺跡群について、早期の世界遺産登録に向けての取組を推進するとともに、道民の理解を深め、さらなる気運の醸成を図る必要がある。</p> <p>・人びとの生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待の高まりがあることなどから、本道ならではの歴史や文化を継承、発信する取組を推進する必要がある。</p> <p>・「北海道みんなの日条例」で定めた「北海道みんなの日」に関する取組は、年々広がりつつあるものの、まだ十分に定着したとは言えない状況にある。</p>	<p>「北海道・北東北の縄文遺跡群」の早期の世界遺産登録に向けた取組を推進するとともに、北の縄文道民会議と連携した事業の実施など官民一体となった道民運動を展開する。</p> <p>・多言語で作成した映像や縄文文化を紹介する冊子などにより、情報発信の強化を図る。</p> <p>・北海道博物館を核として地域の博物館などとも連携し、本道ならではの歴史や文化を次世代に継承し、発信する取組を推進する。</p> <p>・市町村や民間企業等の協力を得ながら、「北海道みんなの日」の認知度を高めていく。</p>		H30	634,442	
			R1	783,298	
			R2	585,839	

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【縄文】	3(4)A		<p>[縄文世界遺産登録推進本部]…4道県及び14市町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書案の作成、ユネスコ諮問機関(ICOMOS)の審査対応 ・国内フォーラム開催、国際的合意形成の促進 ・登録後を見据えた活用のあり方についての検討 <p>[道及び北の縄文道民会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展、セミナー等普及啓発事業 <p>[道]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発事業や情報発信の強化など 		
【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】	3(4)A		<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の歴史・文化に関わる資料の収集・保存 ・北海道の歴史・文化に関わる展示 ・北海道の歴史・文化に関わる調査研究および成果の発信 ・北海道の歴史・文化に関わる教育普及 ・北海道の歴史・文化に関わる情報発信 ・北海道開拓の村の整備 ・北海道の中核的博物館としての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道博物館を核として、道内市町村博物館等の連携を促進し、北海道全体で本道の歴史・文化を継承・発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道博物館を核として、日本博物館協会、北海道博物館協会、全国歴史民俗系博物館協議会等、各種関係団体と連携し、本道の歴史・文化を継承・発信する取組を強化

【道みんの日の啓発】	3(4)A	<ul style="list-style-type: none"> ・道みんの日の認知度を高めるための啓発 ・市町村、関係団体への協力要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念事業の実施や広報・啓発への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・啓発への協力
------------	-------	--	--	--



令和2年度 基本評価調書

施策名

北海道独自の歴史・文化の発信と継承

施策コード

03 — 14

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系及び関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを踏まえた対応
<p>3(4)A</p> <p>【創生】 A4613 【公約】 C0077</p>	<p>【縄文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界遺産登録に向けた推薦書作成 ○ユネスコ諮問機関(ICOMOS)の審査対応 ○活用のあり方に関する検討 ○縄文文化に係るパネル・出土品の展示、普及啓発資料配布 ○縄文文化に係るセミナー・フォーラムの開催 ○縄文文化の持つ特徴やその意義、価値の大きさを映像資料や冊子等により国内外に広く発信する 	<p>【縄文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコに推薦書を提出(R2.1) ○ユネスコ諮問機関(ICOMOS)の現地調査に向けリハーサルを実施(R2.7) ○有識者による活用のあり方に関する検討会を開催(R2.2~R2.8 計5回) ○縄文文化に係るパネル展の開催(R2.4) ○北の縄文道民会議と連携した普及啓発事業の実施(R2.8) ○公共交通機関や駅前等でPR映像の配信(R2.8~) <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第44回ユネスコ世界遺産委員会が延期され、開催時期が未定。 	
<p>3(4)A</p> <p>【創生】 A4614 A4621 【公約】 C0080</p>	<p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道の歴史・文化を伝える資料の収集・保存 ◎総合展示室の充実・更新、ならびに特別展「恐竜展2020」ほか、各種企画展・巡回展等の開催 ○ロイヤル・アルバータ博物館ならびにサハリン州郷土博物館との共同研究プロジェクト、道民・地域との協働・連携による地域情報集積プロジェクトほか、各種研究プロジェクト等の推進と成果の発信 ○講座、講演会、ワークショップ、特別イベントほか、各種教育普及事業の実施 ○各種情報発信 ○北海道開拓の村の整備 ○北海道の中核的博物館として道内市町村博物館、各種団体との連携強化 	<p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部の資料収集案件への対応に遅れが生じているものの、一定程度資料の収集・保存活動を維持。 ・第9回アイヌ文化巡回展『アイヌ語地名と木田金次郎』(会期:7月3日~11月3日、会場:木田金次郎美術館(岩内町))ならびに関連講座を実施。 ・建設部建築保全課、環境生活部文化振興課と連携し、今後の開拓の村歴史的建造物の修繕方針・計画を作成中。 ・コロナ禍のなか、子どもたちが家庭で楽しみながら学べる学習コンテンツをダウンロードできるサイト「おうちミュージアム」を公開。た全国200館を超える博物館が、このサイトに賛同し参加。 ・コロナ禍のなか、北海道内各博物館の休館情報などを収集し、発信。 ・「デジタル・北海道アートミュージアム」の開館に向け検討会議(R1:2回)や、地域ヒアリング(R1:4回)、アンケート調査(R1:1回)を実施 <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時期臨時休館。特別展「恐竜展2020」ほか各種企画展、教育普及事業の多くを中止・延期。 ・アルバータおよびサハリンとの共同研究は実施未定。その他の研究プロジェクトにも遅れが生じている。 	
<p>3(4)A</p>	<p>【道みんの日の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村や企業等と連携した取組を推進 	<p>【道みんの日の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の広報誌への掲載、市町村立施設の無料開放、図書館における特設コーナーの設置への協力 ・AIRDO機内誌への掲載や機内放送のほか、9社18店舗における企業商品の包装及びノベルティを活用したPRを実施 <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が例年実施する記念事業のほか、市町村や団体等の協力により実施する各種記念事業については、多くの方々が集まるイベント等となる可能性があったことから実施せず。 	<p>・「道みんの日」の認知度をより高めるため、お菓子やお酒の包装紙といった広く道民の目に留まりやすい商品を用いたPR手法とした</p> <p>・「道みんの日」に関するアンケート調査を実施しその結果を次年度の施策推進の参考とする</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 —	北海道博物館は、建設部建築局建築保全課等と連携して、北海道開拓の村歴史的建造物に関する歴史的技術及び文化財補修方法等に関する協議を進め、歴史的建造物の整備を実施する。	—	建設部建築局建築保全課、計画管理課、建築整備課	・建設部建築保全課、環境生活部文化振興課と連携し、今後の開拓の村歴史的建造物の修繕方針・計画を作成中。これまでに、会議を2回開催。
地域・民間	北海道博物館は、民間企業等と連携し、地域資源に対する知的好奇心・探究心を高め、郷土愛を醸成することを目的に北海道の恐竜・化石研究の最前線を紹介する特別展「恐竜展2020」を実施する。		北海道新聞社 NHK	《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・特別展「恐竜展2020」は中止。
施策・部局 3(4)A	北海道博物館は、環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課と連携して、アイヌ文化に関心を寄せる潜在層に対する教育普及事業、学校教育・社会教育の現場に対する専門的な知識の提供、民族共生象徴空間のPRの実施等、アイヌ文化に関する情報発信の強化を図る。	0313	環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課	・第9回アイヌ文化巡回展『アイヌ語地名と木田金次郎』(会期:7月3日～11月3日、会場:木田金次郎美術館(岩内町))ならびに関連講座を実施。
施策・部局 3(4)A	世界遺産登録に向けた推薦書案作成、縄文文化に係るパネル・出土品の展示、縄文文化に係るセミナー・フォーラムの開催等や北海道立総合博物館の事業実施等にあたっては、必要に応じて教育庁文化財博物館課やアイヌ政策推進室と連携。	0313	環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課	・教育庁文化財博物館課と連携し、世界遺産登録に向けた推薦書を作成するとともに、縄文文化に係るパネル・出土品の展示及び縄文文化に係るセミナーを開催した。(・パネル展[R1年度7回、R1年度6回※予定]・セミナー[R1年度5回、R1年度3回※予定]) 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・臨時休館への対応などをめぐり、道立近代美術館(教育庁文化財博物館課)などと連携。
		1110	教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課	
施策・部局 —	・「北海道みんなの日」について関係各部と連携し普及啓発を進める。	—	関係各部	・関係各部所管の道有施設について、新型コロナウイルス感染症感染予防対策を実施した上で、条例施行規則に定める施設の使用料等の免除を実施。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・例年各部等で実施するイベントにおいて「道みんなの日」のチラシを配架するなどしてPR協力いただいていたが、いくつかイベントの開催が見送られた。
地域・民間	・市町村、民間企業と連携し「北海道みんなの日」に関する普及啓発を進める。		市町村・関係企業	【道みんなの日の啓発】 ・市町村の広報誌への掲載、市町村立施設の無料開放、図書館における特設コーナーの設置への協力 ・AIRDO機内誌への掲載や機内放送のほか、9社18店舗における企業商品の包装及びノベルティを活用したPRを実施 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・感染予防対策を十分に行えない等の理由から、今年度の無料開放を見送った市町村立施設があった。

令和2年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H25	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A	
北海道博物館の利用者満足度 【指標の説明】北海道博物館の利用者に対して行うオーディエンスリサーチ(利用者調査)で、施設全般に関して「満足」と回答した人の割合 【アウトカム指標】総合計画の政策の方向性「北海道独自の歴史・文化の発信と次世代への継承」の観点から、北海道博物館を核とした本道固有の歴史・文化の発信に係る効果的な取組を図る指標として設定	基準年度	H25	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A	【内的要因】施設整備面を含め改善すべき点は多いものの、提供している総合展示、企画展示、教育普及事業の内容、施設環境、利用者サービスなどが、概ね高い水準で維持されているものと推定される。 【外的要因】特になし	
	基準値	65.80%	目標値	70%	最終目標値	80%	年度	R1	R2	進捗率		
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	70.0	70.0	80		
	北海道総合計画		3(4)A	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	93.7	-	93.7		
							達成率	133.9%	-	117.1%		
世界遺産所在市町の観光入込数 【指標の説明】縄文遺跡群の世界遺産登録年において世界遺産所在市町に観光で訪れた人の数 【アウトカム指標】創生総合戦略の基本戦略「北海道独自の歴史や文化の発信」の観点から縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた官民一体となった道民運動の成果を図る効果的な指標として設定	基準年度	H30	年度	-	最終年度	R3	達成度合	-	-	-	今年度新たに設定した指標のため、達成度合は算定不可。 【内的要因】 【外的要因】	
	基準値	14,557千人	目標値	-	最終目標値	15,430千人	年度	R1	R2	進捗率		
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	-	-	15,430千人		
	北海道創生総合戦略		3(4)A	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	-	-	-		
							達成率	-	-	-		
北海道開拓の村入村者数 【指標の説明】北海道開拓の村に入村し、本道の歴史や文化に触れた人の数 【アウトカム指標】創生総合戦略の基本戦略「北海道独自の歴史や文化の発信」の観点から本道の歴史や文化に触れる機会の充実を図るため効果的な取組の成果を測る指標として設定	基準年度	H29	年度	R2	最終年度	R5	達成度合	-	-	-	今年度新たに設定した指標のため、達成度合は算定不可。 【内的要因】 【外的要因】	
	基準値	130,913人	目標値	134,181.0	最終目標値	149,408人	年度	R1	R2	進捗率		
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	-	134,181	149,408		
	北海道創生総合戦略		3(4)A	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	133,183	-	133,183		
							達成率	-	-	89.1%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03	—	14
-----	-------------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和2年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
						本庁	出先機関	人工計			
0801	3(4)A	野幌森林公園施設整備費(施設建設事業費)	野幌森林公園の施設改修等に関する業務	文化振興課		9,000	9,000	0.0	0.1	0.1	9,792
0802	3(4)A	野幌森林公園管理費	北海道博物館及び野幌森林公園の維持運営のための業務	文化振興課		3,986	3,986	0.2	0.7	0.9	11,114
0803	3(4)A	野幌森林公園利用指導業務	野幌森林公園利用者の指導、苦情対応、普及啓発、広報、統計事務等	文化振興課		0	0	0.0	0.9	0.9	7,128
0804	3(4)A	野幌森林公園許認可業務	道立自然公園である野幌森林公園内における各種行為の申請等に係る許認可等業務	文化振興課		0	0	0.0	0.3	0.3	2,376
0805	3(4)A	北海道博物館事業費(情報システム分除く)	北海道博物館の展示事業、教育普及事業等の実施	文化振興課		11,485	11,485	0.5	18.9	19.4	165,133
0806	3(4)A	北海道博物館事業費(情報システム分)	収蔵資料データベースの管理、HP閲覧システムの運用経費	文化振興課		7,642	7,642	0.0	0.0	0.0	7,642
0807	3(4)A	北海道博物館試験研究費	北海道博物館の調査研究活動	文化振興課		15,730	9,270	0.0	10.1	10.1	95,722
0808	3(4)A	北海道博物館管理運営費	北海道博物館(本館)、北海道開拓の村、自然ふれあい交流館の管理運営(指定管理業務)	文化振興課		343,098	342,713	1.2	2.1	3.3	369,234
0809	3(4)A	開拓の村・百年記念塔施設整備費	開拓の村の維持管理運営等に関する業務	文化振興課		2,002	2,002	0.7	0.5	1.2	11,506
0810	3(4)A	ウポポイ開設を促えたアイヌ政策推進事業(アイヌ文化情報発信強化)	アイヌ文化や歴史に触れる機会の創出に係る経費(アイヌ文化「知の拠点」からの体験・交流促進、アニメーションによるアイヌ文化魅力発信)	文化振興課		21,600	11,177	0.3	0.1	0.4	24,768
0811	3(4)A	地域文化発信事業(北海道博物館特別展)	道民の教養向上を図ると共に恐竜・化石資源を活用した地域作りに貢献するための特別展開催に係る経費(北海道博物館特別展の開催)	文化振興課		25,129	12,818	0.0	0.3	0.3	27,505
0812	3(4)A	歴史文化資源を活用した観光拠点整備事業費(地方創生交付金)	歴史的な文化資源を活かしたまちづくりや地方創生を進めるため、開拓の村の施設整備を行う経費	文化振興課	70000	70,000	70,000	0.3	0.1	0.4	73,168

0813	3(4)A	縄文世界遺産登録プロジェクト	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産への登録へ向けた取組の推進	文化振興課		72,567	55,061	5.0	0.0	5.0	112,167
0631	3(4)A	「北海道みんなの日」活動事業費【政策局から移管】	「北海道みんなの日」(愛称:「道みんなの日」)を広く道民や観光客に周知・定着させるため、各部署及び民間企業と連携した事業及びPR活動を実施	道民生活課		3,600	3,600	0.2	0.0	0.2	5,184
計						70,000	585,839	538,754	8.4	34.1	42.5

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
3(4)A	1				2	A・B指標のみ	<北海道博物館の利用者満足度【A】> ・施設整備面を含め改善すべき点を改善しなければ、現状の達成度合は保てないものと分析する。 <北海道開拓の村入村者数度【-】> ※今年度新たに設定した指標のため、算定不可。 <世界遺産所在市町の観光入込数【-】> ※今年度新たに設定した指標のため、算定不可。
計	1	0	0	0	2	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)	対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1 計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	・新型コロナウイルス感染症の影響等により、予定していた事業の多くを中止・延期、ないしは実施未定とせざるを得なかった。 ・コロナ禍のなかでの社会情勢をふまえ、新たな取組を行った。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)	取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2 施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・道民等に対し広くアンケート調査を実施しており、とりまとめ結果について次年度以降の施策推進に役立っている。
4 施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	・建設部建築保全課、環境生活部文化振興課と連携し、今後の開拓の村歴史的建造物の修繕方針・計画を作成中。 ・第9回アイヌ文化巡回展『アイヌ語地名と木田金次郎』(会期:7月3日～11月3日、会場:木田金次郎美術館(岩内町))ならびに関連講座を実施。
判定	・基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2～4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→ c	C

Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分： 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
施策 事務事業	I	0631	「北海道みんなの日」活動事業費	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
事務事業				

令和2年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等> ・「ほっかいどう歴史・文化・自然『体感』構想」に基づき、北海道博物館総合展示室の充実・更新、北海道開拓の村の整備などを含め、野幌森林公園エリアの活性化を目指す取組を進める。</p> <p><廃止・縮小、見直しを行った取組等> ・コロナ禍における新たな取組として、密回避のため同時に展示室に入室できる最大人数を定める定員制を実施し、R3年度以降についても当面、定員制を継続する。</p>	<p>新規：野幌森林公園エリア活性化事業費 改善：北海道博物館事業費(情報システム分除く)、北海道博物館管理運営費、開拓の村・百年記念塔施設整備費 縮小：地域文化発信推進事業(北海道博物館特別展)</p>
②	<p><新たな取組等> ・R2に実施した道みんの日認知度について、52.1%が道みんの日を知っていると回答。(R1 26.6%) ・アンケートでは、北海道の歴史、自然を知りたいという意見に限らず、「北海道の将来や目指す未来を知りたい。」といった意見が多数寄せられており、R3は公立施設の無料開放や商品包装を活用したPRのほか、「道みんの日記念シンポジウム」を実施するなどして、条例が掲げる理念の実現に向け、「道みんの日」の趣旨が的確に伝わるよう、取り組む。</p>	<p>改善：「北海道みんなの日」(愛称：「道みんの日」)活動事業費</p>

(2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況) <意見区分； 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
I	0631	「北海道みんなの日」活動事業費	<p>・今年度は感染防止の観点から集客を伴うイベントは実施せず、お菓子や酒造メーカーなど民間企業の協力を得て新たな取組実施。こうした取組や各種広報手段を活用しながら、道みんの日をPRした結果、認知度の向上が図られた。一方で、条例が掲げる理念の実現に向けて、道みんの日の趣旨を的確に伝えるためには、取組の工夫が必要であることから、次年度は、これまでのようなイベント等によるPRにとどまらず、シンポジウムなども開催し、未来に向かってより豊かな北海道を築いていくための機運醸成を図るとともに、市町村や民間企業などの協力を得ながら更なる普及啓発に努める。</p>

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計	次年度新規事業 (予定)
反映結果		4					4	1

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価における方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
0631	「北海道みんなの日」活動事業費	改善	改善
0805	北海道博物館事業費(情報システム分除く)	改善	改善
0808	北海道博物館管理運営費	改善	改善
0809	開拓の村・百年記念塔施設整備費	改善	改善